

ISO/IEC Directives Part1 2026年版の改訂ポイント

2026年7月22日

一般財団法人日本規格協会
JDMT日本メンバー 濱岡里鶴



ISO/IEC Directives, Part 1

- 国際標準化活動のルールブック／マニュアル
- 誰が(組織)何をするかどう行うか(手順)を記載
- TMBの直下の国際チームJDMTで維持管理を行う
- ISO/IEC/JTC 1のそれぞれ固有のルールを
整合化(共通化)する歴史的な大プロジェクト！を完了

2026年版 新Directives Part 1

- 2026年7月1日: ISO/IECホームページにアップロード、公開
- 2026年10月5日: 発効
- <https://www.iso.org/directives-and-policies.html> から
2026年版のダウンロード可能
- 2024年版もまだ掲載されているため注意
- プレゼン中、**DP1** (ディーピーワン) と呼びます

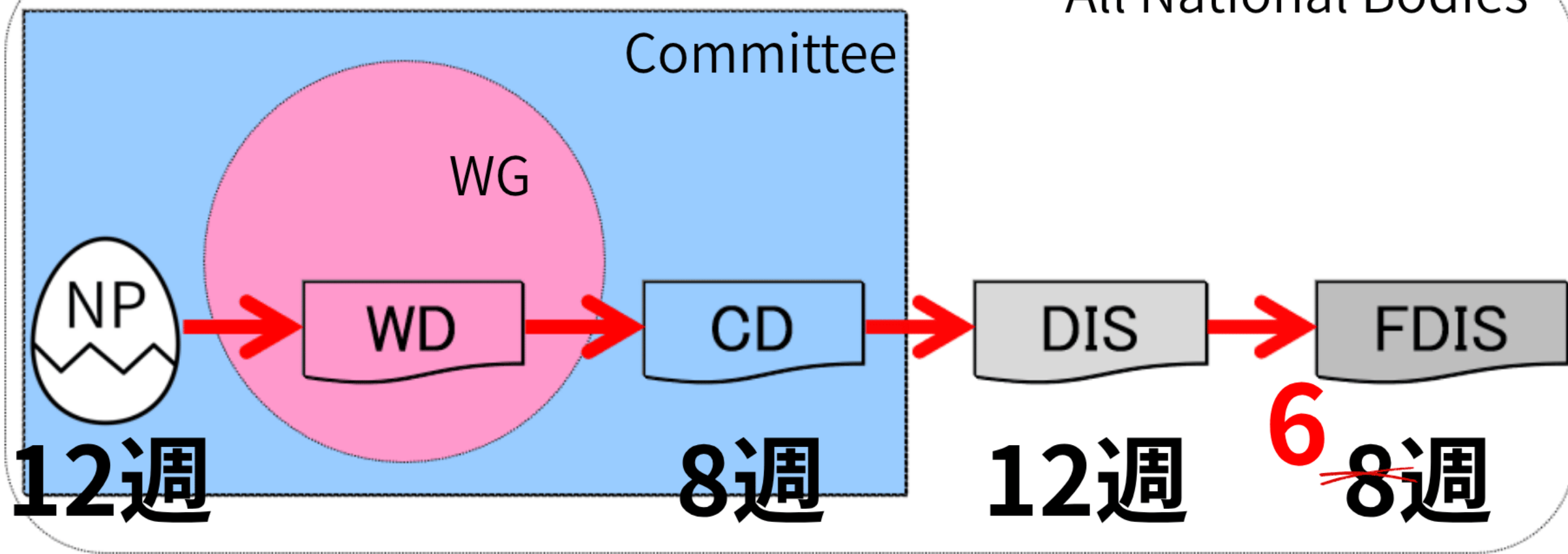


文書開発のプロセスに関わる変更点

- 変更点10: 予備作業項目PWIは24ヶ月後に取り消し
- 変更点17: NP投票の期間を12週間から8週間に
- 変更点08: プロジェクトは36ヶ月以内に承認段階に
- 変更点11: 安定期日

※変更点の番号は、ISO中央事務局が5月1日に発行した解説文書「KEY CHANGES AND WHAT THEY MEAN TO YOU」の中の番号です

投票期間の変更



議長判断で
NP 8週に短縮も
可能に
NEW!

FDIS投票
6週に

Q

NP投票期間短縮を議長は
どのような根拠に基づいて
決定？

A

[2.3.4].... NP ballot may be decreased to eight weeks as decided by the committee Chair in consultation with the Secretary/Committee Manager, the Office of the CEO **and the proposer.**

*Excerpt from ISO/IEC Directives, Part 1
21st Edition, 2026, V01/2026*

期限の変更

~~24~~36か月



期限内に
提案段階に
進まなければ
自動キャンセル

起点

new project approved

 **10.99**

Committee

WG

WD

CD

All National Bodies

DIS

FDIS

30か月で

DISに
到達しなければ
自動キャンセル

 **40.00**

36か月で

FDISに
...同左

 **50.00**



新版DP1ルールへの移行スケジュール

2026年10月5日以降:

- 36か月の開発期限を超えたプロジェクト(TR含む)はキャンセルされる
- 既に延長されているプロジェクトは自動的に36か月+12か月に変更される

作業項目(work items)の自動取り消し [2.1.6.1]

すべての作業項目(PWIを除く)は

- 作業プログラムに~~5年~~36か月以上掲載されているのに
FDIS段階に達しない場合
- 36か月(limit date)の6か月前までに
DISに達していない場合

(中央事務局によって)自動的に取り消される

期限の変更

STAGE	SUB-STAGE						
	00	20	60	90			
	Registration	Start of the main action	Completion of the main action	Decision			
				92	93	98	99
				Repeat an earlier phase	Repeat current phase	Abandon	Proceed
00 Preliminary stage	00.00 Proposal for a new project received	00.20 Proposal for a new project under review	00.60 Close of review			00.98 Proposal for new project abandoned	00.99 Approval to ballot proposal for a new project
10 Proposal stage	10.00 Proposal for new project registered	10.20 New project ballot initiated	10.60 Close of voting	10.92 Proposal returned to the submitter for further definition		10.98 New project rejected	10.99 New project approved
20 Preparatory stage	20.00 New project registered in TC/SC work programme	20.20 Working draft (WD) study initiated	20.60 Close of comment period			20.98 Project cancelled	20.99 WD approved for registration as a CD
30 Committee stage	30.00 Committee draft (CD) registered	30.20 CD consultation initiated	30.60 Close of comment period	30.92 CD referred back to Working Group		30.98 Project cancelled	30.99 CD approved for registration as DIS
40 Enquiry stage	40.00 DIS registered	40.20 DIS ballot initiated 12 weeks	40.60 Close of voting	40.92 Full report circulated: DIS referred back to TC or SC	40.93 Full report circulated: decision for new DIS ballot	40.98 Project cancelled	40.99 Full report circulated: DIS approved for registration as FDIS
50 Approval stage	50.00 Final text received or FDIS registered for formal approval	50.20 Proof sent to secretariat or FDIS ballot initiated 8 weeks	50.60 Close of voting. Proof returned by secretariat	50.92 FDIS or proof referred back to TC or SC		50.98 Project cancelled	50.99 FDIS or proof approved for publication
60 Publication stage	60.00 International Standard under publication		60.60 International Standard published				
90 Review stage		90.20 International Standard under systematic review	90.60 Close of review	90.92 International Standard to be revised	90.93 International Standard confirmed		90.99 Withdrawal of International Standard proposed by TC or SC
95 Withdrawal stage		95.20 Withdrawal ballot initiated	95.60 Close of voting	95.92 Decision not to withdraw International Standard			95.99 Withdrawal of International Standard

起点

new project approved

10.99



ステージコードの
Annex SDは
新DP1では削除

www.iso.org/stage-codes.htmlで確認可能

出展

ISO/IEC Directives, Part 1, 2024(旧版)

Procedures for the technical work —

Consolidated ISO Supplement —

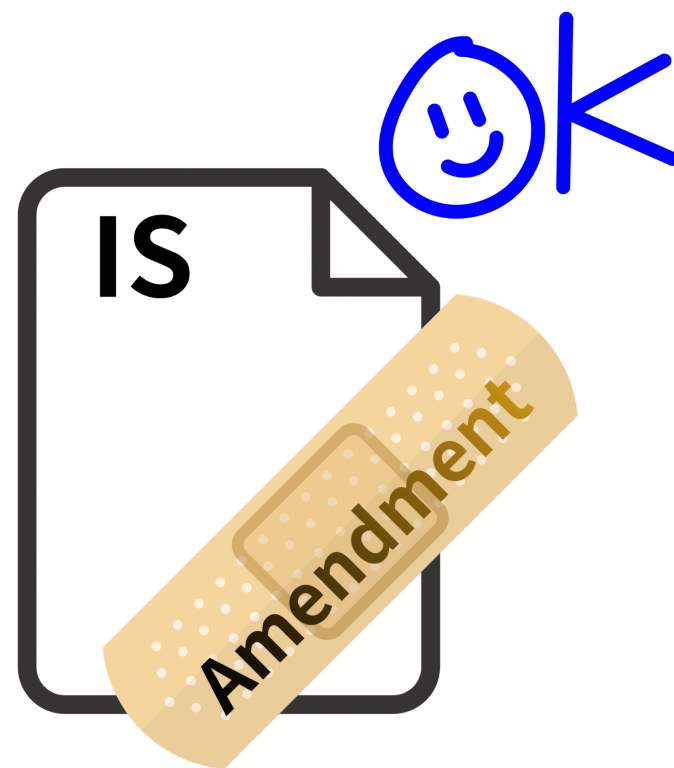
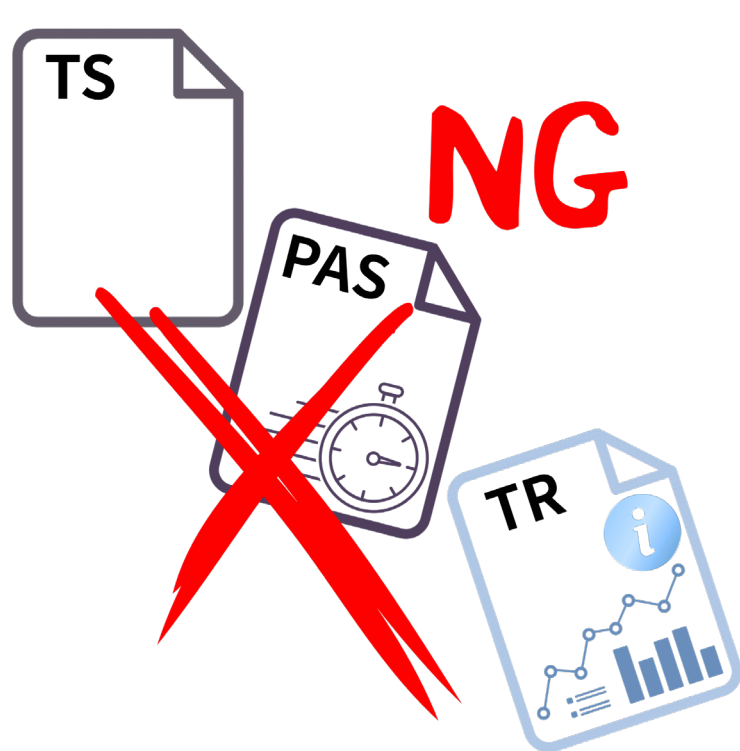
Procedures specific to ISO

© ISO/IEC 2024 — All rights reserved

107

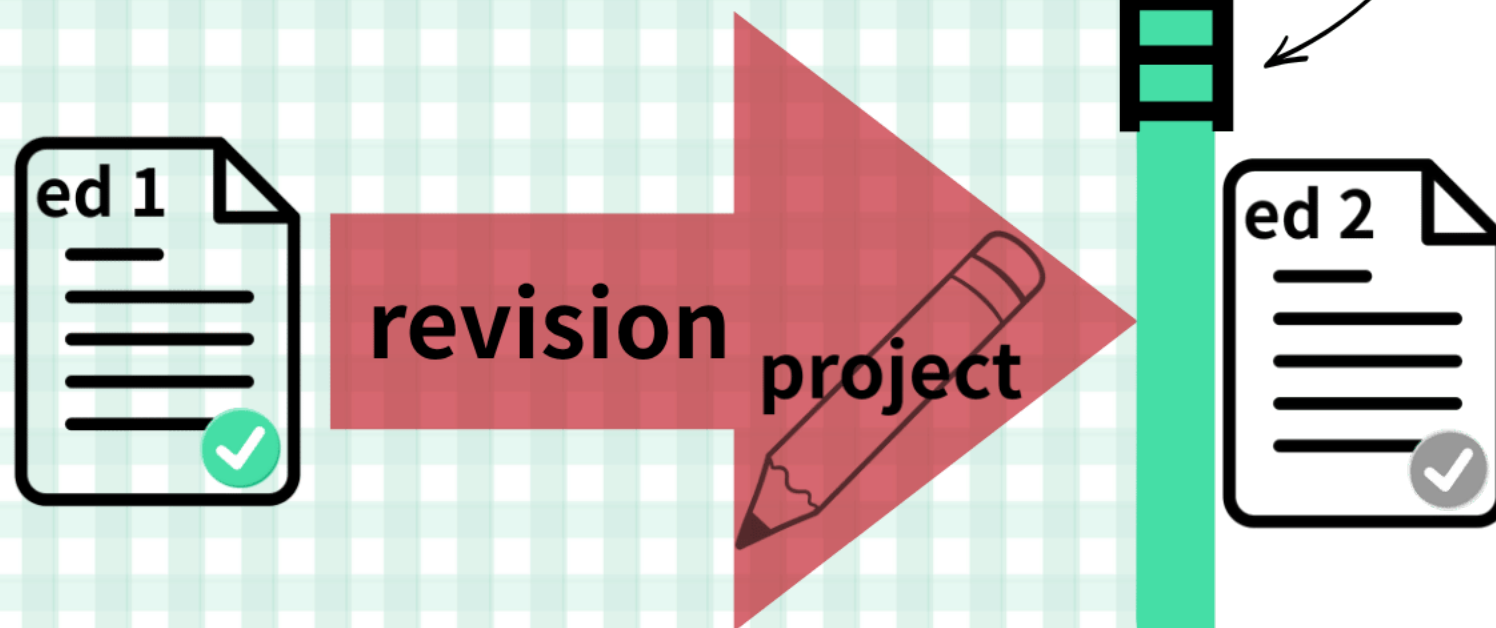
間に合わなかったとき→延長 [2.1.6.1]

- 可能な延長期間が~~(以前の9か月から)~~12か月までに変更
- 延長可能な文書は国際規格 (IS) または国際規格の追補のみ



安定期間

文書に変更が無いままであることが
予想される期間



※文書が改訂されるケースの図示

※文書が改訂されるケースの図示



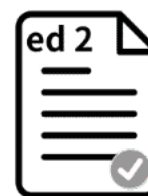
発行からISは5年
TS,PASは3年

定期見直し

revision

project

BEFORE

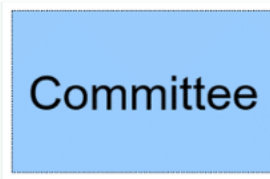


発行からISは5年
TS,PASは3年

現行版が最新版の期間

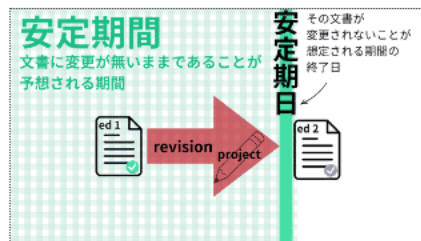
4 Maintenance of documents

4.1 Review process レビュープロセス



※委員会が責任を負う
(中央事務局ではない！)

4.2 Stability dates 安定期日



安定期日・安定期間 (IEC式!) の導入
期日はDIS, FDISとホームページに明記される

4.3 Review procedure レビュー手順



※確認/改訂/追補/廃止につき

1. CMかSubgroupが**勧告**

2. 委員会が**決定**

安定期日に間に合うように！

4.4 Review requirements レビュー要求事項 (年数)

IS, TS, TR, Guide, SRDは初版の安定期日は5年。

PAS, IWAは6年で、それ以降は違う文書に変更されるか廃止。

4.6 Revision, amendment, correction and withdrawal procedures 改訂/追補/正誤表/廃止



新版DP1ルールへの移行スケジュール

- 新DP1への切り替え時に実施中の定期見直しは継続するが2026年10月5日以降、新たな定期見直しは開始しない
- 詳細は中央事務局からのガイダンス文書待ちの状況

組織に関わる変更点

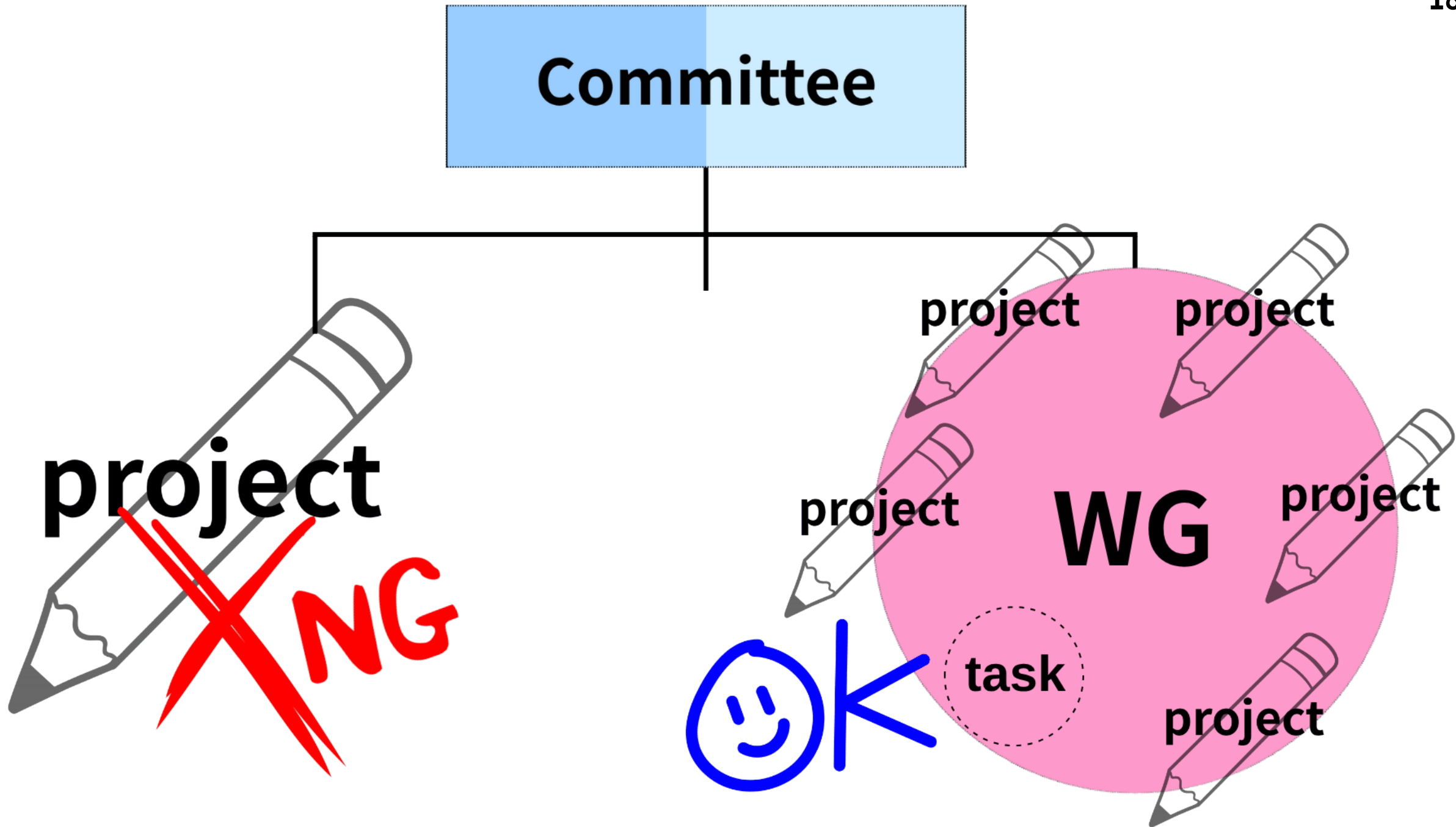
- 変更点01:すべてのプロジェクトはWGに
- 変更点09関連:プロジェクトリーダーは一人
- 変更点09:プロジェクトエディター
- 変更点06:コンビーナの任命合理化
- 変更点02:国を超えて柔軟に議長を任命
- 変更点03:業務支援のため副議長を任命可能に

用語

プロジェクトとは？

文書を、新たに開発、追補、又は改訂して
発行することを目的として
行われる業務のこと [2.1.4]

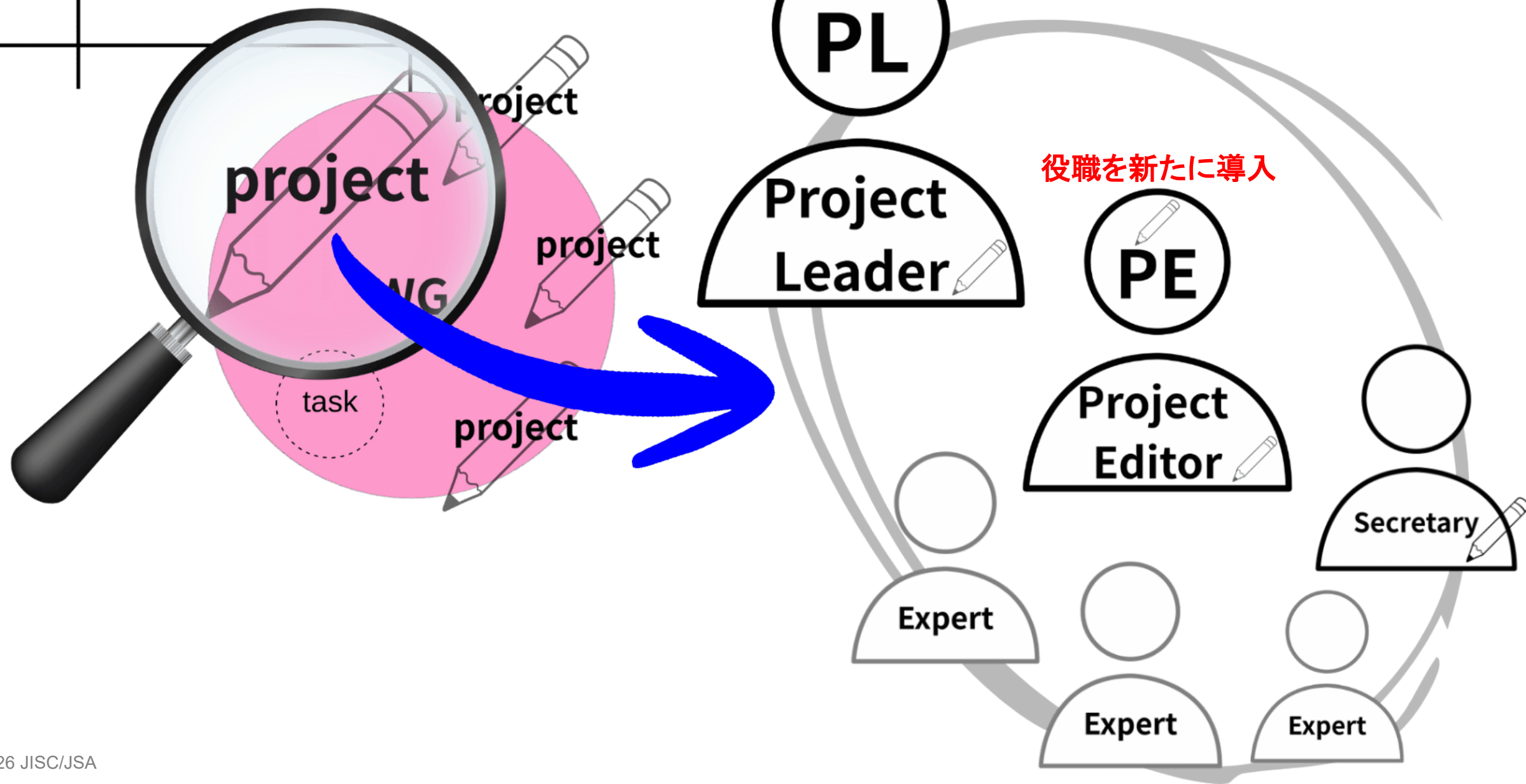




ProjectはCommitteeの直下に設置不可

- ProjectはCommitteeの直下には設置できないことになった
- 提案段階承認後のプロジェクトはすべてWG(既存/新規)に割り当てされなければならない[2.3.6]
- (例外: Guide・採択プロセスの文書・ウィーン協定でCEN技術委員会に直接登録のプロジェクトは可能)
- NP投票時に、割当先WGについての同意が求められる

Committee



プロジェクトリーダー (Project Leader)

[2.4.5]

- 委員会が各プロジェクトの推進のため
1名を任命しなければならない (“one” PL)
- 規格の提案時に提案者が指名
- 指名を考慮して任命される
- 通常、そのプロジェクトを議論する会議を
招集して議論をリードする
- 国際的な立場 

Q

PLとWGコンビーナが
同一人物ではないケースで
WG会議招集の責任は？

A

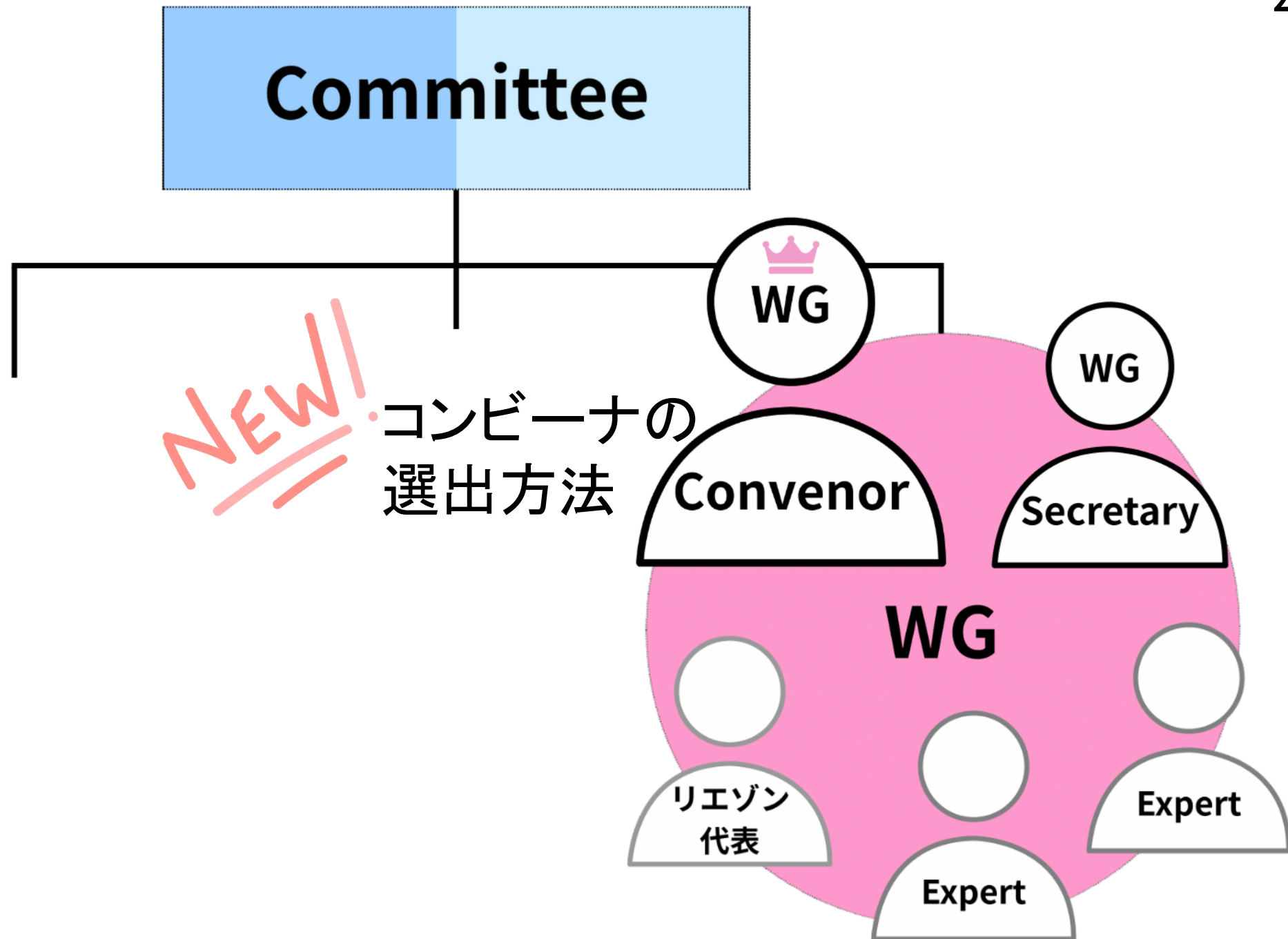
WG会議はコンビーナが招集。
PLは自分のプロジェクトに
関する会議を招集可能。
文書もアップロード可能に。

コンビーナに確認しながら
無難かもしれません

プロジェクトエディター (Project Editor) [2.1.9]

- 役割: 文書の編集、Directives Part 2の遵守の責任
- WGのメンバーから任命
- 設置は任意(無しならPLがPEの職務を実施)
- 委員会が、文書提案時または決議で決定
- 国際的な立場 



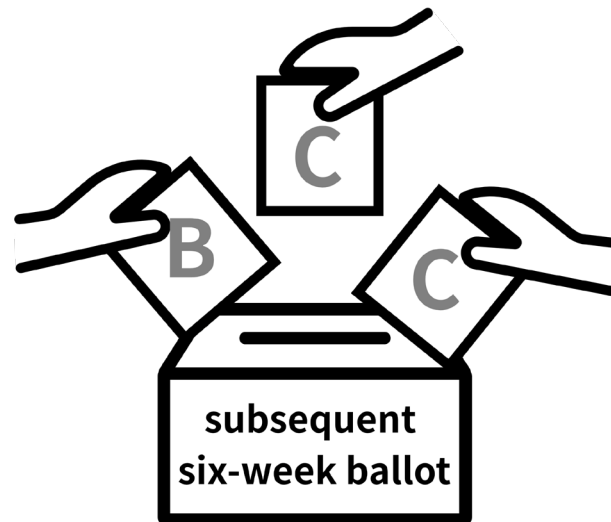
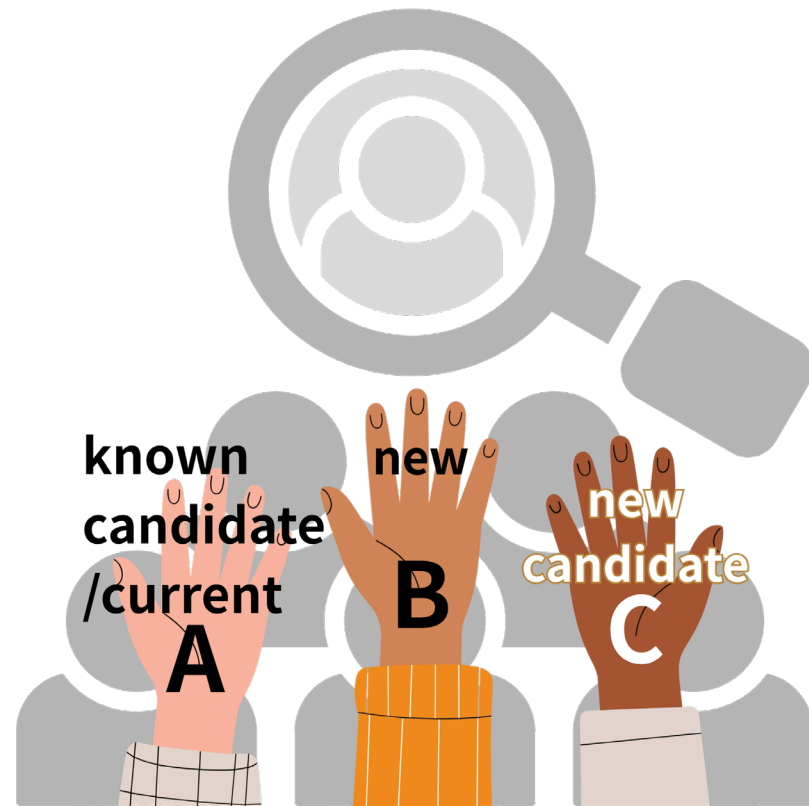


コンビーナ公募必須化 [1.12.1]

任期の終わり又は欠員になった時:

- 現職の再選の立候補の意思表示
- 6週間で候補者の募集

※一つの同じBallotの中で同時に行ってもよい



複数の候補者があがった場合
続いて6週間の別の投票を実施し
最多得票者をコンビーナに任命

highest number of votes

代行 (Acting) Convenor [1.12.1]

- コンビーナ職に予期せぬ欠員が生じた場合
後任候補者を募集する一方で
代行 (Acting) コンビーナを任命することができる
- 代行 (Acting) コンビーナ任期は、最長6か月

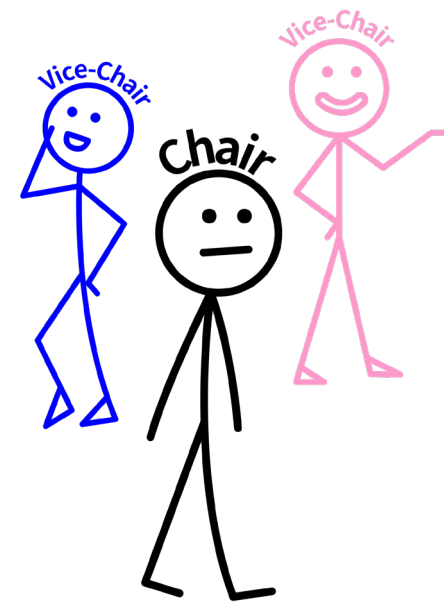
議長候補者[1.8.1]

幹事国は自国以外のP-memberから
議長候補を検討することが
推奨される

幹事国は附属書Lに従って候補者を選定しなければならない

副議長 (Vice Chair) 責任 [1.8.3]

- 議長・委員会マネージャーが提案。複数も可能
- 投票Pメンバーの2/3以上の賛成で承認
- 任期は3年、合計9年まで
- 任務: 儀礼的ではなく実質的な任務を柔軟に
- 議長の任務は担当できない
- (現職議長の後任になることの保証ではない)



国際会議に関わる変更点

- Directives説明会(Web)にて
- 本日は重要ポイントのみ

国際会議

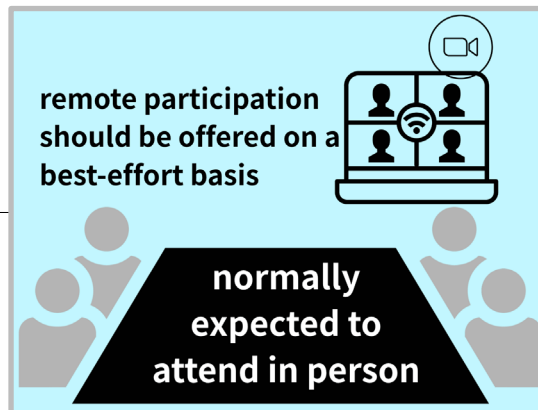
新DP1: 箇条5の新設と関連既存文書廃止

- 旧ISO/IEC Directives, Part 1, clause 4
- 旧ISO Supplement, Annexes [SF](#), [SK](#)
- 旧[ISO/IEC Meeting Guidance](#) (JTF NN guidance document)
- 旧[ISO/IEC JTC 1 SD 19](#)
- 旧[IEC Meeting guidance](#) (2012)
- 旧SMB/TMB Guidance on effective hybrid and virtual meetings

会議タイプ：対面とバーチャルの2種類のみに

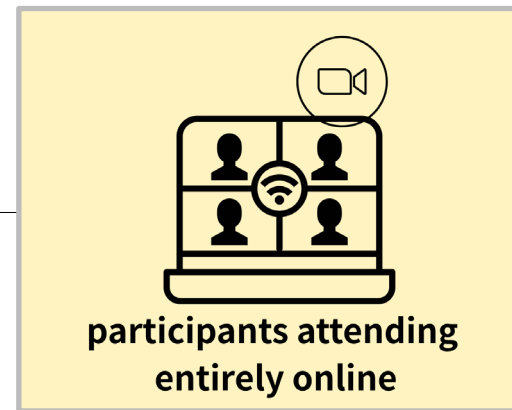
対面会議

主催者が設定した
物理的場所で物理的に出席する

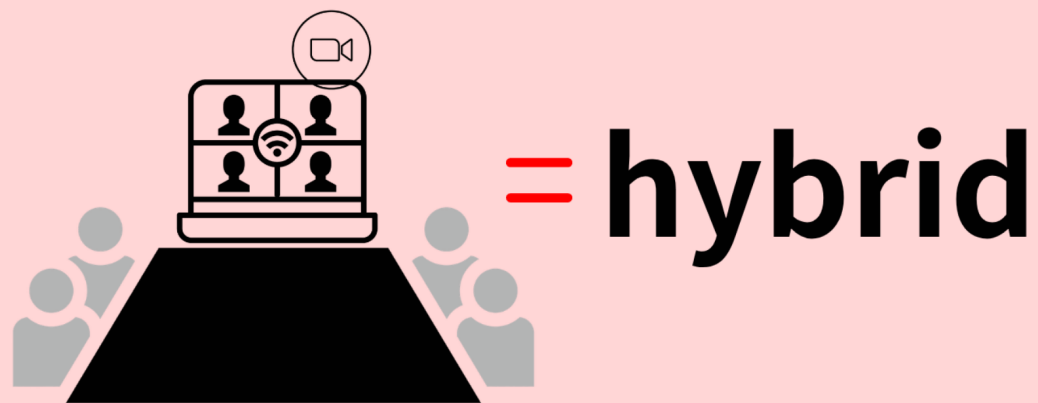
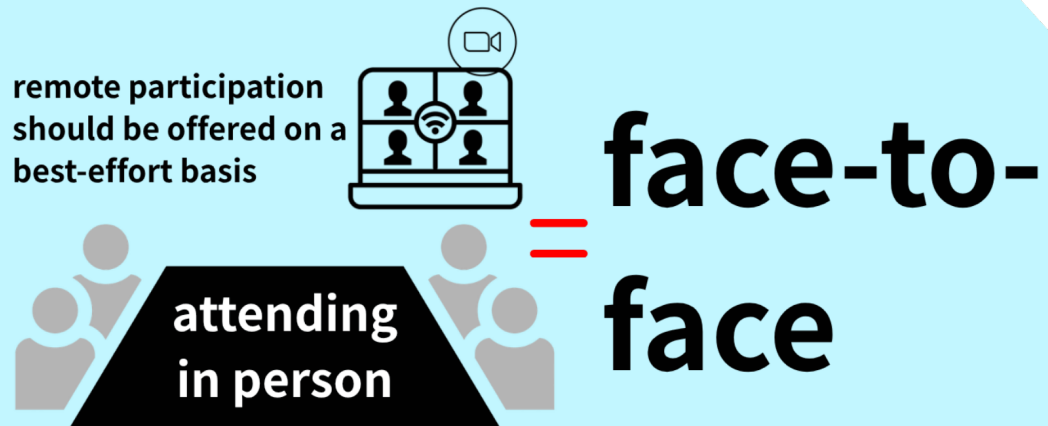


バーチャル会議

すべてオンラインの参加者のみ



- 会議タイプの決定は、インターアクションの必要性、予想される参加、主催者と参加者への制約を考慮に、リーダーが行う
- リモート参加の選択肢は提供することが望ましい、ベストエフォートで
- 作業の進捗を助け、参加を増加させるために
バーチャル会議やオンラインのツールを使うことが推奨される[5.2]



変更の経緯

「ハイブリッド会議とリモート参加付の対面会議の違いは？」

- ハイブリッド会議を無くした
- ハイブリッド「的」な会議は対面会議として残っている
- ただし新対面会議でリモート参加提供は「ベストエフォート」で

会議時間帯設定のルールがDP1本文へ [5.1]

- （従来はDP1ではなくガイダンス文書に記載の内容）
- バーチャル会議は、参加者のローカル時間で00:00-05:00に設定するのは避けることが望ましい
- タイムゾーンと会議時間のローテーションを考慮することが望ましい
“any inconvenienceがreasonablyに共有されるように”



本掲載内容をご利用の際は出典(資料名、資料作成者、掲載URL)を
明記お願い致します

When using this material, please indicate the source (name of the material,
name of the author of the material, and URL of the material).

本掲載内容の一部および全てについて、
無断で編集、改変、販売、翻訳、変造を固く禁じます

Unauthorized editing, modification, sale, translation, or alteration of any part or all
of the contents of this material is strictly prohibited.

問い合わせ先 Contact point
一般財団法人日本規格協会
Japanese Standards Association
kokusai@jsa.or.jp

本文書は経済産業省の令和8年度の委託事業の成果です。 © 2026 JISC/JSA